

企業が変わる 社会を変える 女性の活躍！



# あいち女性の活躍促進サミット 2018

## 開催レポート

日時／2018年11月27日  
会場／名古屋コンベンションホール「メインホール」

「あいち女性の活躍促進サミット2018」が、11月27日に名古屋コンベンションホールで開催されました。

「あいち女性輝きカンパニー」の優良企業表彰式、RIZAPグループ代表取締役で、カルビー株式会社シニアチェアマンの松本晃氏の基調講演、優良企業に選ばれた5社の取組事例の発表

と、6都県の女性副知事によるパネルディスカッションが行われました。

会場には企業経営者や人事担当者ら288名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

### 「あいち女性輝きカンパニー」 優良企業表彰式



取組事例を発表した各社の皆さん



優良企業に選ばれた企業の代表者の皆さん

愛知県では、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現に向けて「あいち女性の活躍促進プロジェクト」を推進しています。その一環として、2015年から女性の活躍に向けて積極的に取り組む企業を「あいち女性輝きカンパニー」として認証しています。その中から、女性の活躍推進のリーディングカンパニーとして、他の模範となる企業を表彰しており、今年は5社を優良企業として表彰しました。

表彰式で大村知事は、進学・就職を機に20代前半の女性の東京圏への転出が増える現状や、出産・育児に当たる30代の女性の就業率が落ち込むM字カーブの谷が深いことを挙げ、「能力や個性に応じて自分の人生で輝いてもらうためにも、女性が活躍できる職場を増やし、若い人が住んで働きたいと思うような愛知にしなければいけない。表彰企業には、今後も女性活躍のリーディングカンパニーとして活動していただくことを期待したい」と激励しました。

事例発表では、表彰された5社の代表者が、女性の活躍に向けて取り組んできた状況や成果を発表しました。

**優良企業**

- 常時雇用する労働者数 301人以上の部
  - アイシン精機株式会社
  - 小林クリエイト株式会社
  - トヨタファイナンス株式会社
  - 株式会社名古屋銀行
- 常時雇用する労働者数 300人以下の部
  - 東三河ヤクルト販売株式会社



アイシン精機株式会社  
常務役員 中村 武司様



小林クリエイト株式会社  
取締役 木建 輝治様



トヨタファイナンス株式会社  
代表取締役社長 宇野 充様



株式会社名古屋銀行  
専務取締役 山本 恭久様



東三河ヤクルト販売株式会社  
代表取締役社長 高橋 豊彦様

## 基調講演 「Change, or Die! - 働き方改革 生き方改革 -」

RIZAP グループ株式会社取締役 カルビー株式会社シニアチェアマン 松本 晃氏



カルビー株式会社の業績をV字回復させたカリスマ経営者として注目を浴びる松本晃氏が「Change, or Die!」と題して、基調講演を行いました。

「戦後、社会・経済が大きく変わり、女性の生き方も変わった。これまでの古い仕組みを壊し、制度を整える。変革しないと国際競争には勝てない」と話し、危機感を高め、既存の組織や体制を変えたことで、業績を向上させ続けてきた経営者としての持論を熱く語りました。

カルビー株式会社代表取締役会長兼CEOとして9年間にわたってダイバーシティに取り組み、女性管理職の積極的な登用や在宅勤務を推進。女性を管理職として登用するために責任と報酬のバランスを整え、思い切って高いポジションに置くトップの英断を促しました。

「会社は魅力的な人間をつくる場所。魅力的な人はいい仕事をする」と述べるとともに、働き方を変え、一人ひとりの生き方が変わることによって会社が良くなり、その結果、人生に豊かさをもたらし、日本も強くなる好影響を強調しました。

## パネルディスカッション



6都県の女性副知事が参加してパネルディスカッションが行われました。女性副知事は、自身が副知事の任命を受けた戸惑いから決断するまでの体験や、各都県の女性活躍に取り組んできた経緯と課題など互いの現状を発表しました。

東京都の猪熊純子副知事は、女性初の小池百合子知事のもと女性管理職の登用が進んでいる(都の女性管理職比率は約20%)実態を話し、山梨県の柵木環副知事は、産前産後ケアセンターの全国に先駆けた開所や病児病後児保育の県内広域利用の取組について話しました。また、長野県の中島恵理副知事は、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されたことから、環境、経済、女性の活躍など社会の取組を強化していることを挙げました。福岡県の大曲昭恵副知事は、県内の人口構成で20代から女性の数が男性を上回ることを上げ「女性社長が多く、元気な県」と自信を込めました。鹿児島県の中村かおり副知事は、女性が観光需要の大切な支え手にもなっていることから「意欲や能力のある女性の活躍が県の発展につながる」と話しました。

最後に、愛知県の宮本悦子副知事は「今回のパネルディスカッションに基づき、女性の活躍促進に取り組む決意を共同宣言として発信していきたい」と呼び掛け、拍手で全員一致となりました。

パ  
ネ  
リ  
ス  
ト



ゲスト RIZAP グループ株式会社取締役  
カルビー株式会社シニアチェアマン 松本 晃氏

ダイバーシティは、男性の既得権を奪うことにもなるが、トップが具体的な数値目標に向け、結果を出すべき。女性の活躍を促進しなければ、会社は儲からないのははっきりしているのに、役職への登用率はまだまだ低い印象だ。



東京都副知事 猪熊 純子氏

都の調査で、女性活躍が進まない理由の最多は「家事・育児等の両立」。都では、「保育の充実」とテレワークの推進など「働き方改革」の両面に力を入れている。女性活躍のカギは、トップの主導力と男性の家事・育児参画と考える。



山梨県副知事 柵木 環氏

女性の起業を優遇する融資やセミナーなどを積極的に進めていて、人口当たりの女性社長数が全国第3位。65歳以上の仕事を持つ女性割合も第1位。経営トップの意識が変われば、女性の活躍が加速するのを実感している。



長野県副知事 中島 恵理氏

働きやすい職場づくりを進める企業を認定する仕組みのほか、女性だけでなく、男性の育児や介護も応援する「イクボス・温かボス宣言」の普及、「11月19日はいい育児の日」などにより女性の活躍を応援している。



福岡県副知事 大曲 昭恵氏

管理職に就きたくない女性の意見を掘り下げていくと、長時間労働に要因があり、働き方改革とセットで進めるべき。女性は人生を豊かにする仕事への意識を変え、チャレンジしてほしい。



鹿児島県副知事 中村 かおり氏

企業のトップへの働き掛けと女性のキャリア形成意識を育てる二本柱で進めたい。女性にとって仕事と家庭を両立する環境整備に加えて、安心感や自信を与え、背中を押してくれる上司の存在が欠かせない。



愛知県副知事 宮本 悦子氏

若い女性の人口流出による男女比の不均衡が課題。働きやすさと同時に住みやすい魅力的な街づくりが必要。女性の活躍促進プロジェクトチームを全庁挙げて展開し、女性登用などを企業トップに直接要請している。